

「魂」の教科書と感想文

守嶋 凜音

最初、「魂」と聞くと難しい本なのかと思いましたが、読み進めていくと、とても興味味が湧きすぎく面白く素敵な本に恵り会えました。

お腹の中にいた時の記憶がある人がいるとゆうのは、テレビなどで見たことがありましたが、「お腹の中に入る前の宇宙の記憶がある人もいるとゆうのを初めて知りました。本当に

に神様や天使もいるとゆうことを知ることができた。神社は、お願いするのではなく、決断とお礼をする。と学んび、確かにお願いいしても自分が行動しない限り何か動くことはないなと思えました。

何が失敗したり、うまくいかないことがあると完璧な人なんていないと分かっていて自分にはダメだなと落ちこんでしまったりありますが、この本を読んで、生きていくだけで、オールオク。とありました。先生が

お、しゃつてた、失敗も経験、経験するこ
とに對して自分を褒めることによつて気持ち
が明るくなるとありました。どうしても、失
敗するとネガティブになつてしまひますが、
これからは、自分を褒めて、自分を好きにな
れるようにしていきたいと思ひました。

そして、親を選んで自分が産まれたのだと
知り、もっと親孝行をしたいと思へるようにな
りました。幸せにする為には、まず自分が
幸せと思へなければいけないので、自分を好
きなになれるように、一つ一つの感情、行動に
感謝をして、人を幸せにできる人になれるよ
うにしたいと思ひます。

さらに、自分に子供ができたら、毎日お腹
にいる時から会話をして時間の質を大切にし
て、無条件の愛、相手の存在を受け入れ、可
能性を信じ、力になりたいと思へるように毎
日、笑顔に過ごせるように感謝の気持ちを忘
れずにしたいです。

魂のままに、やりたいと思つたことにじん

どんチャレニシして、そまご失敗してもくじ
けずに、失敗してよか、たと思えるようにな
るのは難しいけれど、毎日感謝の気持ちをも忘れ
ず意識すれば身につくことだと思ふので、
日々感謝の気持ちを忘れずに、自分を愛し、
笑顔で楽しい人生にしていけます。